

薬剤師における副作用等報告制度等の認識に関する アンケート調査への御協力をお願い

平素から医薬品の適正使用と安全対策の推進に御協力を賜り感謝申し上げます。

現在、日本医療研究開発機構の研究事業で、「医療機関および薬剤師における副作用等報告制度の認識と実践の実態把握とその推進に関する研究」（研究開発代表者：眞野 成康 国立大学法人東北大学病院 教授・薬剤部長）が実施されております。

研究班ではこれまで、医薬関係者からの医薬品医療機器法に基づく副作用等報告制度（安全性情報報告制度）について、日本病院薬剤師会所属の薬剤師が在籍する全国の病院・診療所を中心とした実態調査や医薬関係者の意識調査を行い、また、シンポジウムの開催等を通じた成果発表や本制度に関する周知に取り組んでおりました。

本研究が本年 3 月末に終了するにあたり、再度、病院薬剤師に対し、別紙のとおり、本制度の認識に関するアンケート調査を実施する運びとなりました。

貴会会員の皆様におかれましては、このアンケート調査の趣旨を御理解いただき、御回答に御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 2 9 年 1 月

一般社団法人 日本病院薬剤師会 会員 各位

厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長